

4. 谷津沼の特徴を比較

日本各地には、今でも農作物作りには欠かす事の出来ない農業用施設として、その土地や風土に合わせた様々な「ため池」が数多くある。このため、各地域のため池の特徴について、平成 30 年度の農林水産省ため池データベースにより確認、比較を行った。

最初に、ため池データベースの全データから「廃止」や「データ不明」のため池を除外。抽出されたものを「現存ため池」とし、これをさらに、タイプ別・地形別に区分した。タイプ別の区分は「皿池・谷池・その他」の 3 種類。これを地形区分によってさらに「山地・丘陵地・台地・低地・その他」の 5 種類に細分化。以下のとおり、計 15 区分とした（表 20）。

表 20 農林水産省ため池データベースの抽出区分

	地 形 別				
タイプ別	皿池（山地）	皿池（丘陵地）	皿池（台地）	皿池（低地）	皿池（その他）
	谷池（山地）	谷池（丘陵地）	谷池（台地）	谷池（低地）	谷池（その他）
	その他（山地）	その他（丘陵地）	その他（台地）	その他（低地）	その他（その他）



図 47 皿池・谷池のイメージ

皿池（左）：地表面を掘削して貯水，谷池（右）：谷あいにて堤を築いて貯水

現存ため池を 15 区分した後、実際に水利組合等の複数人で使われていると想定される貯水量 1 千 t 以上で水を使う受益者 3 戸以上のため池を再抽出した。抽出した結果が、次頁にあるグラフ（上段：国内ため池、中段：東日本ため池、下段：西日本ため池）となっている（図 48、図 49、図 50）。抽出した数値の詳細値については『7. 谷津沼の特徴比較用【参考資料】』による。

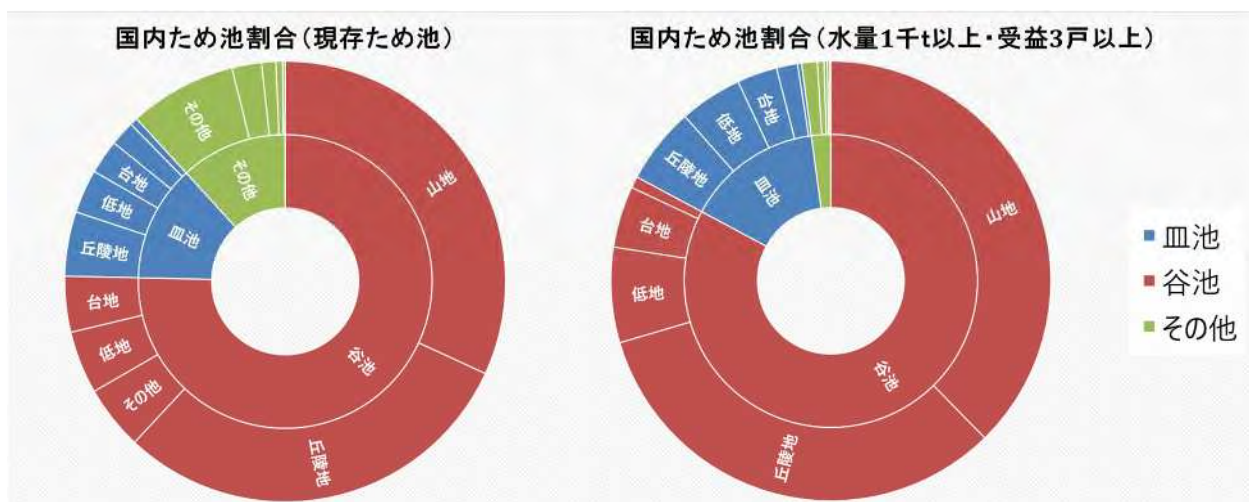


図 48 国内ため池の割合を表したグラフ
【現存ため池（左）、水量1千t以上・受益3戸以上ため池（右）】

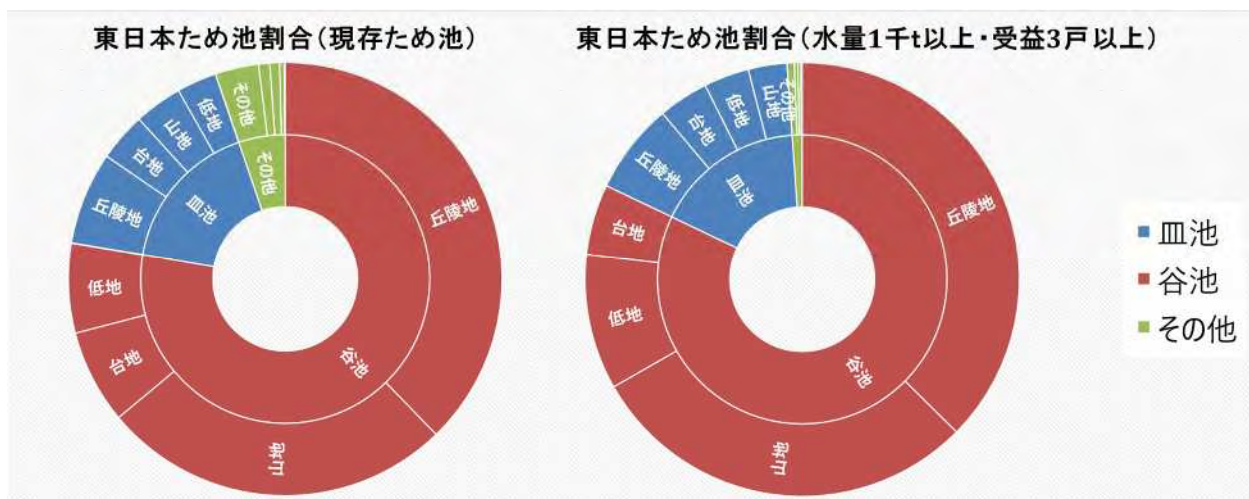


図 49 東日本ため池の割合を表したグラフ
【現存ため池（左）、水量1千t以上・受益3戸以上ため池（右）】

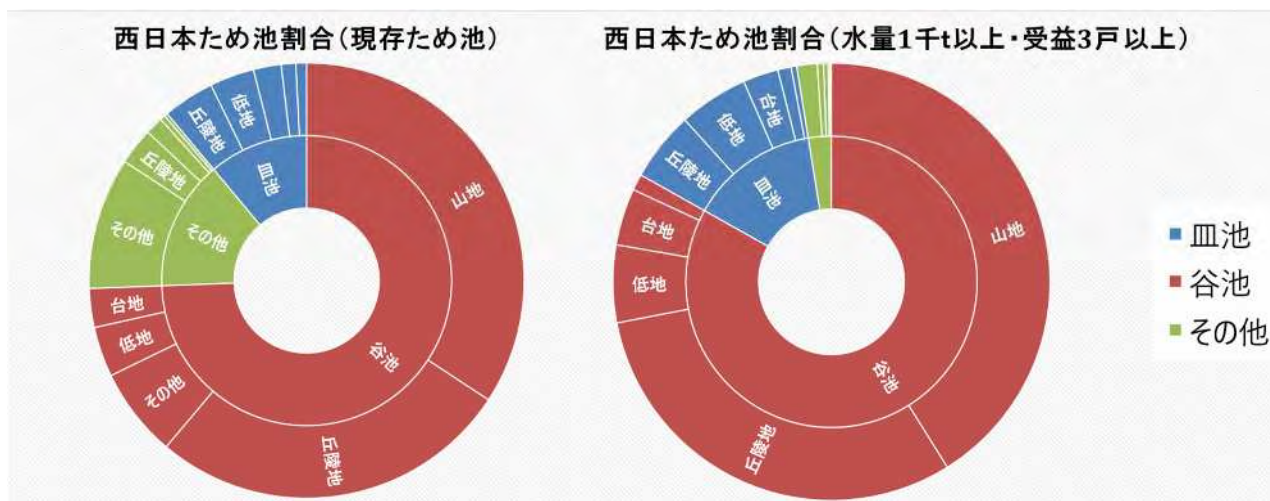


図 50 西日本ため池の割合を表したグラフ
【現存ため池（左）、水量1千t以上・受益3戸以上ため池（右）】

次に国内の代表的な 16 地域の丘陵地についても確認を行い、比企丘陵と比較を行った（図 51、図 52）。抽出した数値の詳細値は『7. 谷津沼の特徴比較用【参考資料】』による。

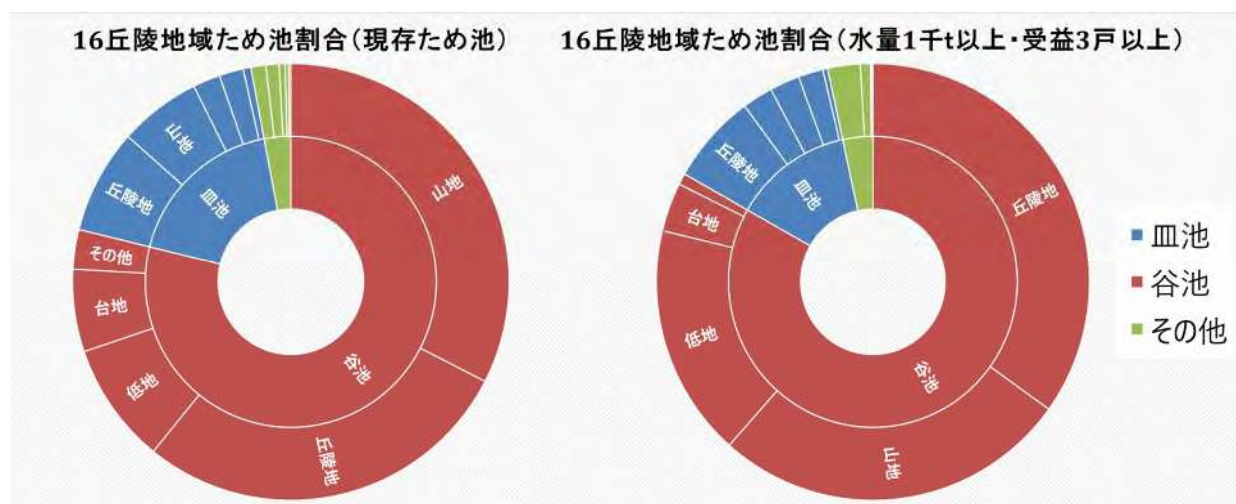


図 51 16 丘陵地域のため池割合を表したグラフ
【現存ため池（左）、水量 1 千 t 以上・受益 3 戸以上ため池（右）】

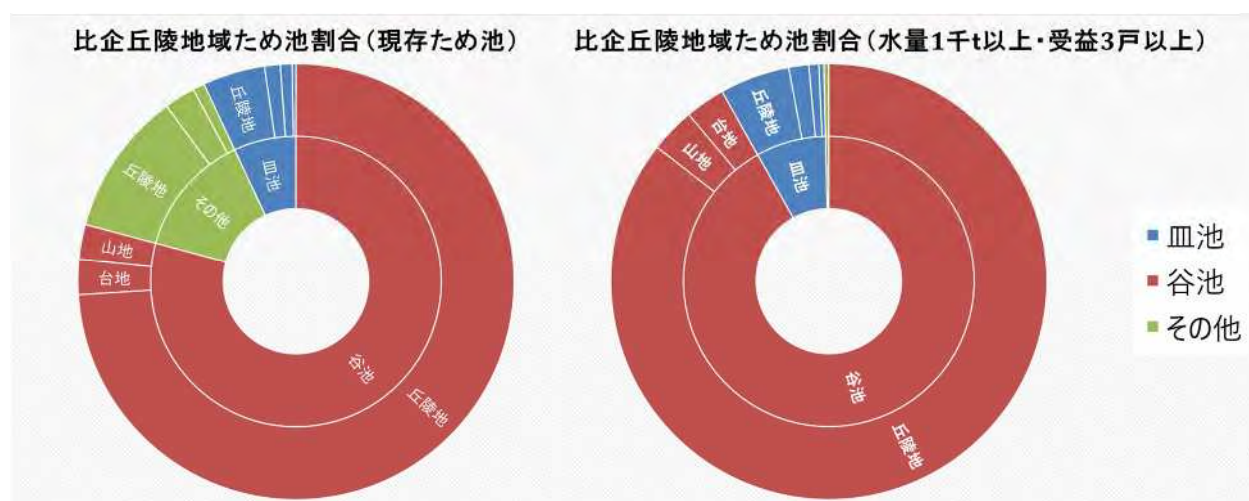


図 52 比企丘陵のため池割合を表したグラフ
【現存ため池（左）、水量 1 千 t 以上・受益 3 戸以上ため池（右）】

国内「ため池」について

日本国内にある「ため池」は、谷状の地形を利用した谷池形式のよるものが大多数であった。山林が国土の約 7 割を占める国内の地形は、ため池が多く在る地形も山地や丘陵地となり谷状地形の谷池が多くあった。

ため池数は東日本地域の約 32,700 箇所に対して西日本地域は約 78,900 箇所と東日本地域の 2 倍以上あり、実際に使っているため池はどちらも 41%程度であった。このため、箇所数

の多い西日本地域では使っていないため池の数が多いという事が分かる。

ブロック別の割合では、東日本地域内で最もため池の多いブロックは東北ブロック、使っていないため池の多いブロックは北陸信越ブロックとなっている。西日本地域内では最もため池の多いブロックは中国ブロック、使っていないため池の多いブロックは沖縄ブロックであった。ため池箇所数の最も少なくなっている地域は、11,655箇所少なくなった中国ブロックであった。

全国には使われていないため池が数多くあり、このことは、地域で行われている農業に合わせてため池の必要度は大きく変わっているものと考えられる。

比企丘陵にある「谷津沼（ため池）」の特性について

比企丘陵地域は、地形の特性により国内の丘陵地域の中でも勾配が緩やかな地域である。国内の主な丘陵地平均勾配の2.5%に対し1.0%と半分以下となっていて、標高も平均すると60mから70m程度の比較的平坦な丘陵地であった。各丘陵地域で特色があり、当地域と16丘陵地域の平均と比較して検討を行う。

当丘陵地は、国内でも早くに人々の生活が始まったと考えられ1,400年以上前から現在と同様な谷津沼を利用した農業が行われていたと推測される。谷津を堰き止めた人力による谷津沼造りであったことから谷津沼の面積も4,570 m²と平均面積6,110 m²の75%程度であった。1 km²当りのため池数も谷津沼数が1.11箇所に対し平均数0.46箇所となっているが、当地域は谷津が多く、ほとんどの谷津に谷津沼が在る事に起因するものと思われる。また、谷池の集水面積を比較すると当地域10.79haに対し平均17.38haの62%程度、現在も使用している割合では78.0%に対し43.2%であった（表21）。

表 21 16 丘陵地域平均と比企丘陵地域の比較表

	ため池面積		1 km ² 当り箇所数		谷池集水平均面積	
	A 区分	B 区分	A 区分	B 区分	A 区分	B 区分
16 地域平均	6,110 m ²	8,700 m ²	0.46 箇所	0.20 箇所	17.38ha	21.90ha
比企丘陵	4,570 m ²	4,160 m ²	1.11 箇所	0.87 箇所	10.79ha	11.37ha

注) A 区分：現存ため池 B 区分：A 区分から1千t以上3戸以上を抽出

比企丘陵地域は他の丘陵地域と比べ谷津地形が多く、その谷津地形を利用した農業を行うために谷津沼を造ってきた。また、谷津に囲まれた限りある農地であったため、谷津内の農地は思うよう拡大することが出来なかった。さらに谷津は痩せ尾根でもあったことから集水面積も少なく、天水頼りの小さな谷津沼を造ることで谷津の農地は米作りのための谷津田となった。谷津田は年貢や換金作物の供給に特化して農業が永く続けられてきた。

また、当地域は丘陵地形を巧みに利用する農業を行うために谷津沼を造ったが、痩せ尾根の谷津から生まれる貴重な天水を最大限に利水出来るように農業を続けるための沼下コミュニティが発達した地域でもある。

5. 谷津で完結する貯留・分配・水管理方法

当地域は関東平野の北西端にある。広い谷底と小谷が発達した、他の地域では例を見ないほど高密度に谷津地形が形成され、その最奥部（谷頭部）に谷津沼を築くことで谷津地形を利用して古くより農業の営まれてきた地域である。

地形を利用し地域で調達可能な材料を用いて脈々と米作りが行われてきた。天水頼りの貴重な水を谷津に堤体を築くことで必要なだけ貯め、簡単に、無駄なく下流域の谷津田に分配してきた。過去から現在まで一貫したこの考えにより行われてきた谷津沼農業である。

また、当地域には谷津沼を基準とした「沼下」という重要な概念がある。この「沼下」には複数の意味が含まれており『谷津沼の下流域にある谷津田エリア』や『沼水を管理する水利組合』、さらに『谷津田の所有者』や『谷津田の耕作農家』、『谷津田に住んでいる家』を指すこともある。この「沼下」を中心にコミュニティが発達し、複数の沼下が集って「小字」となり、その小字が複数集まって「村」となった。

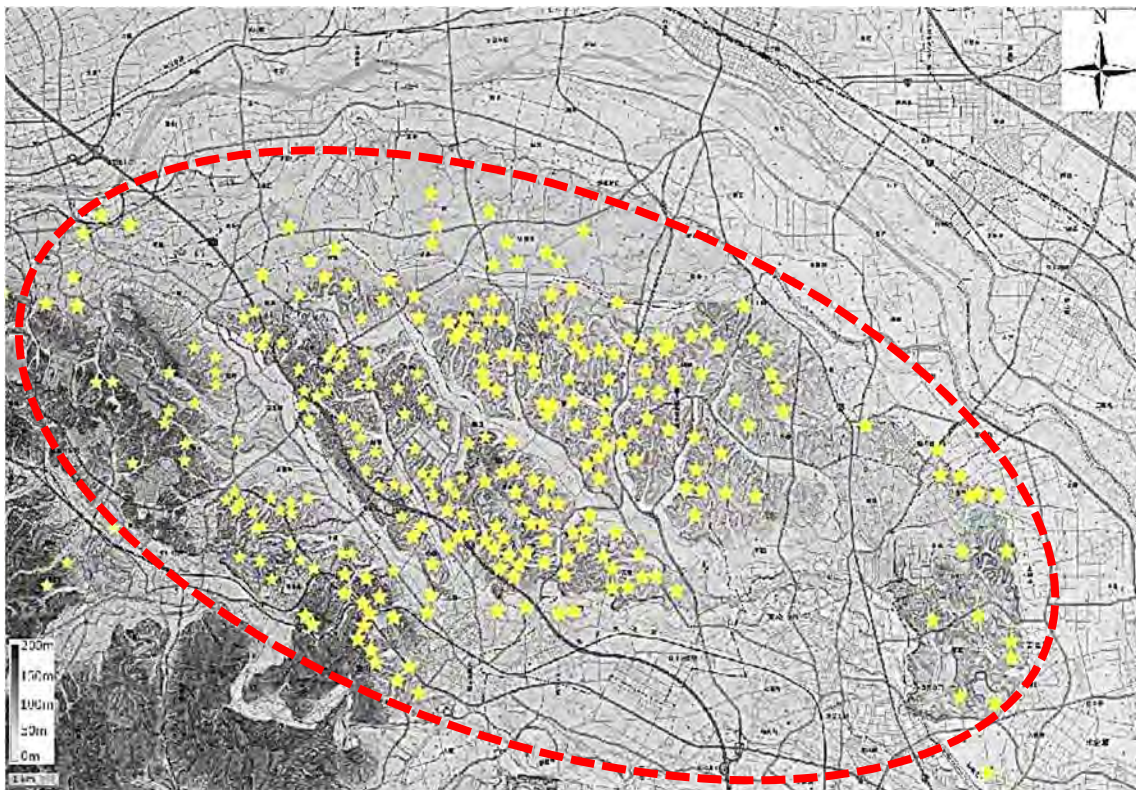


図 53 比企丘陵における谷津地形（2019 立正大学）と谷津沼（☆印）の分布



図 54 谷津の景観 (←は流下方向)

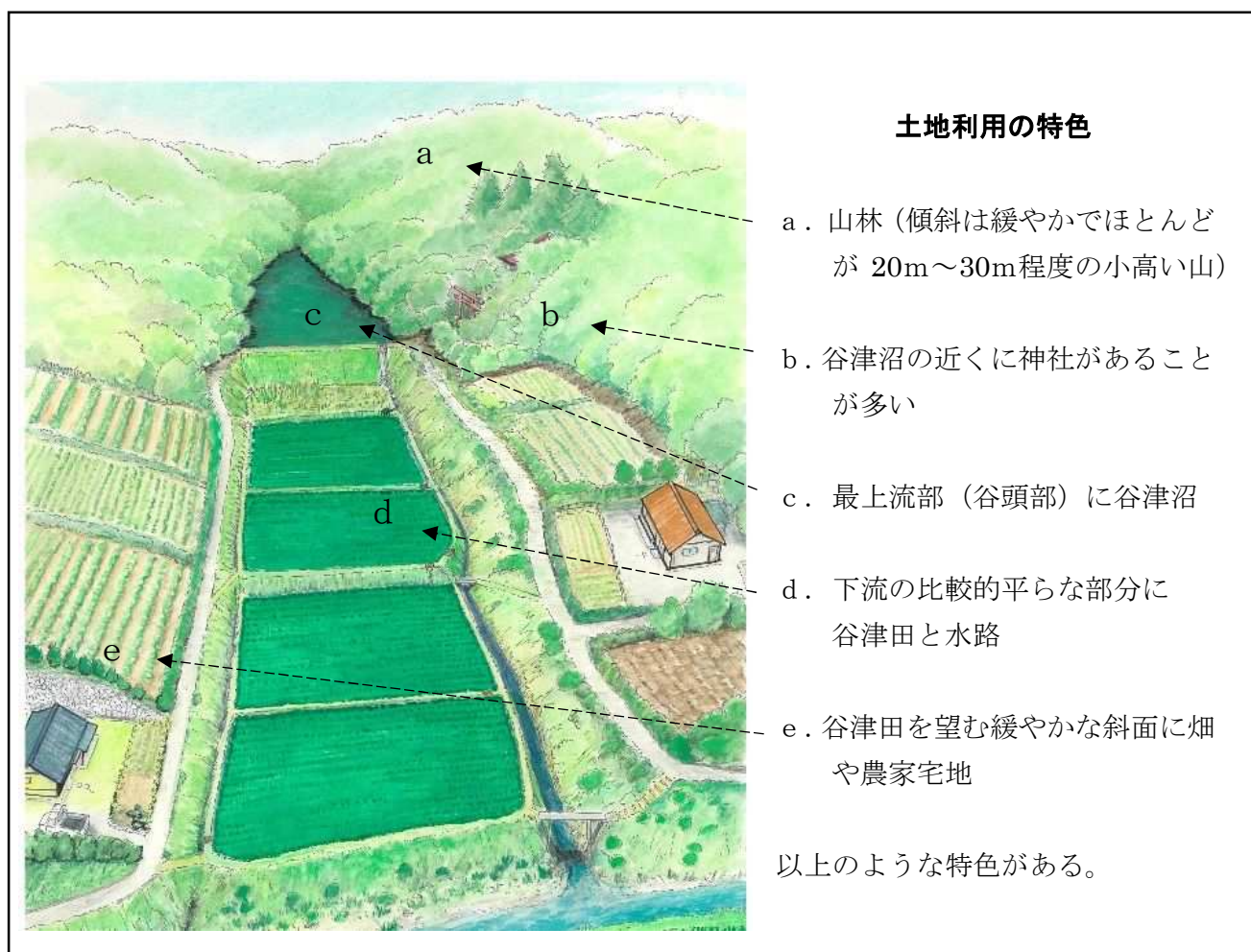


図 55 代表的な谷津の土地利用 (イメージ) 図

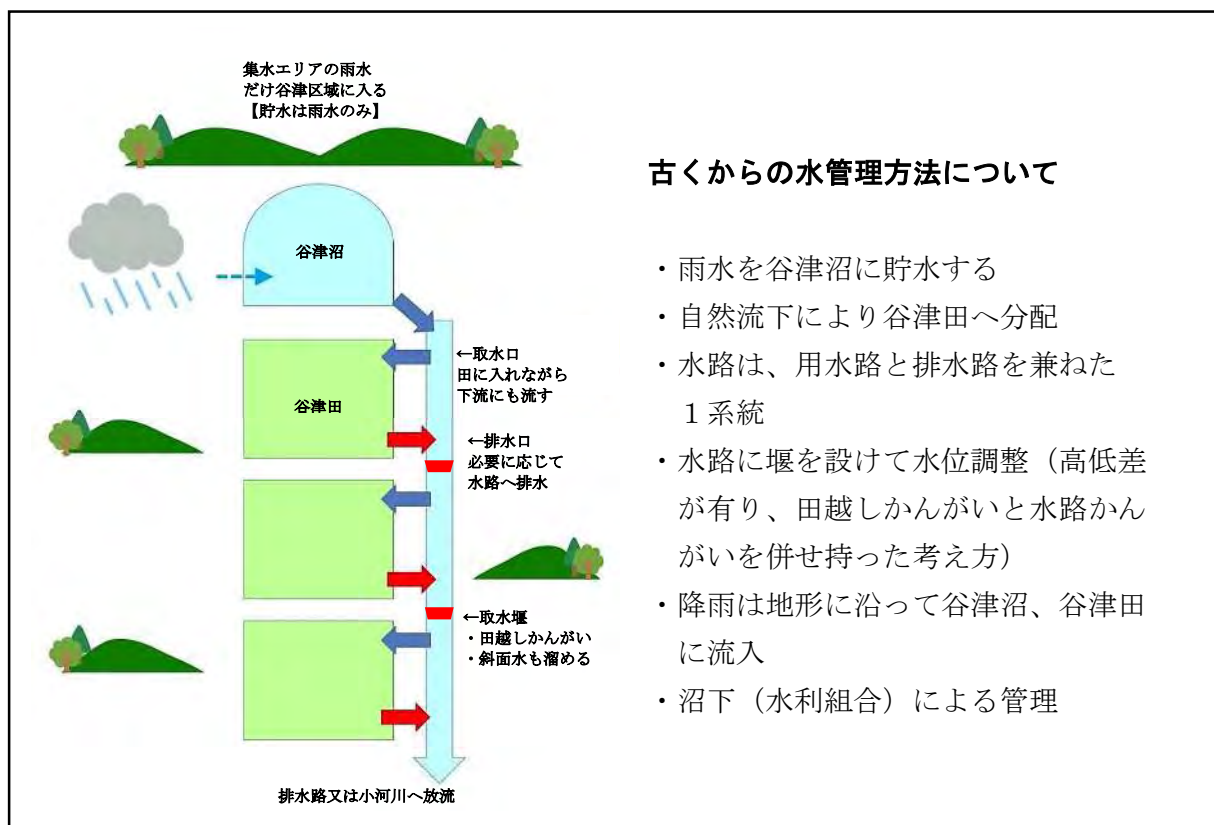


図 56 谷津の水利方法（1）

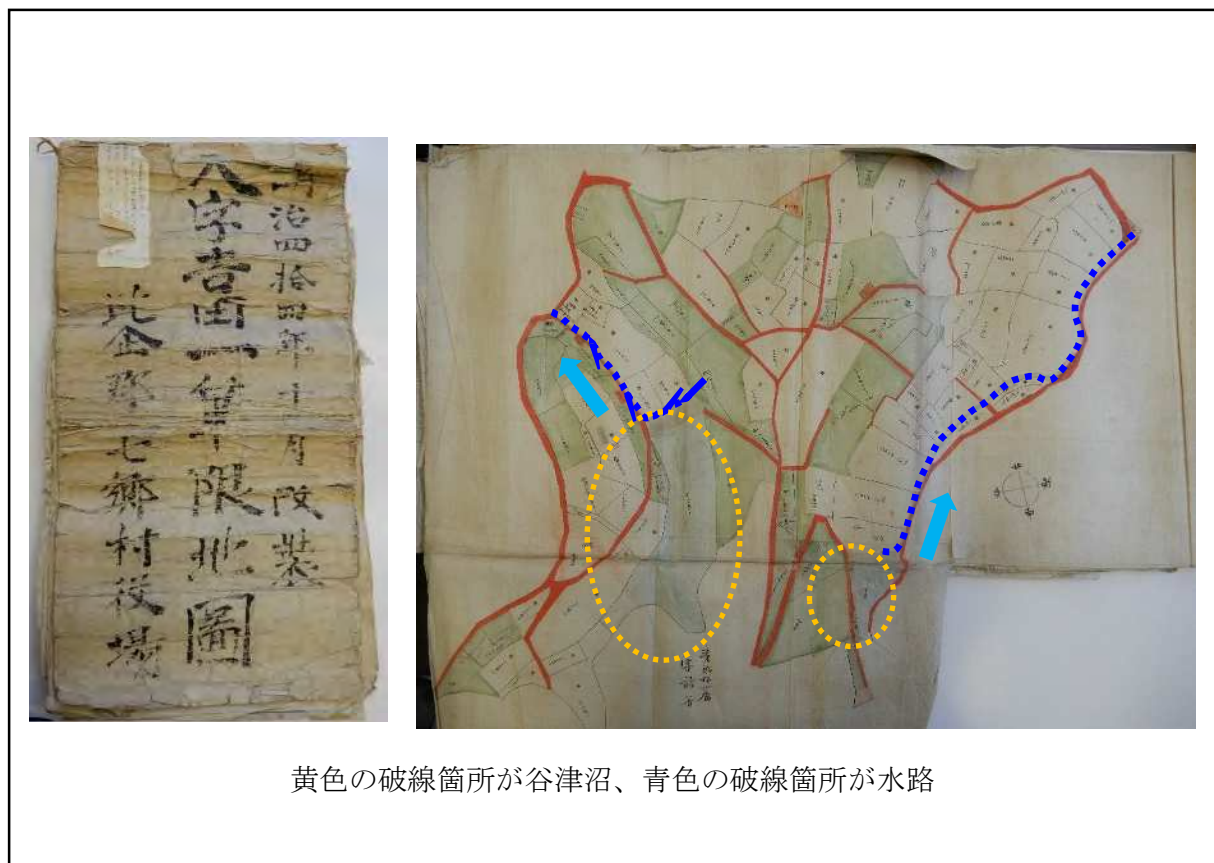
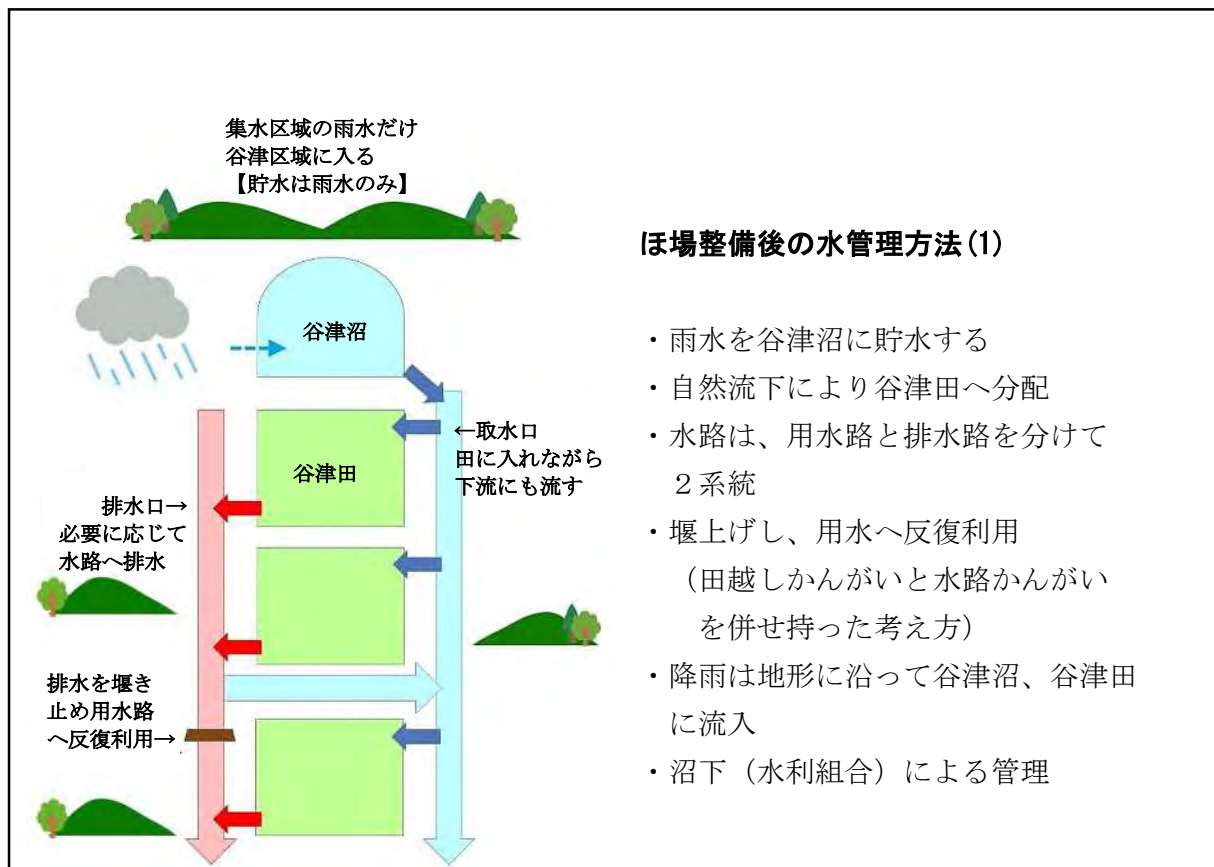
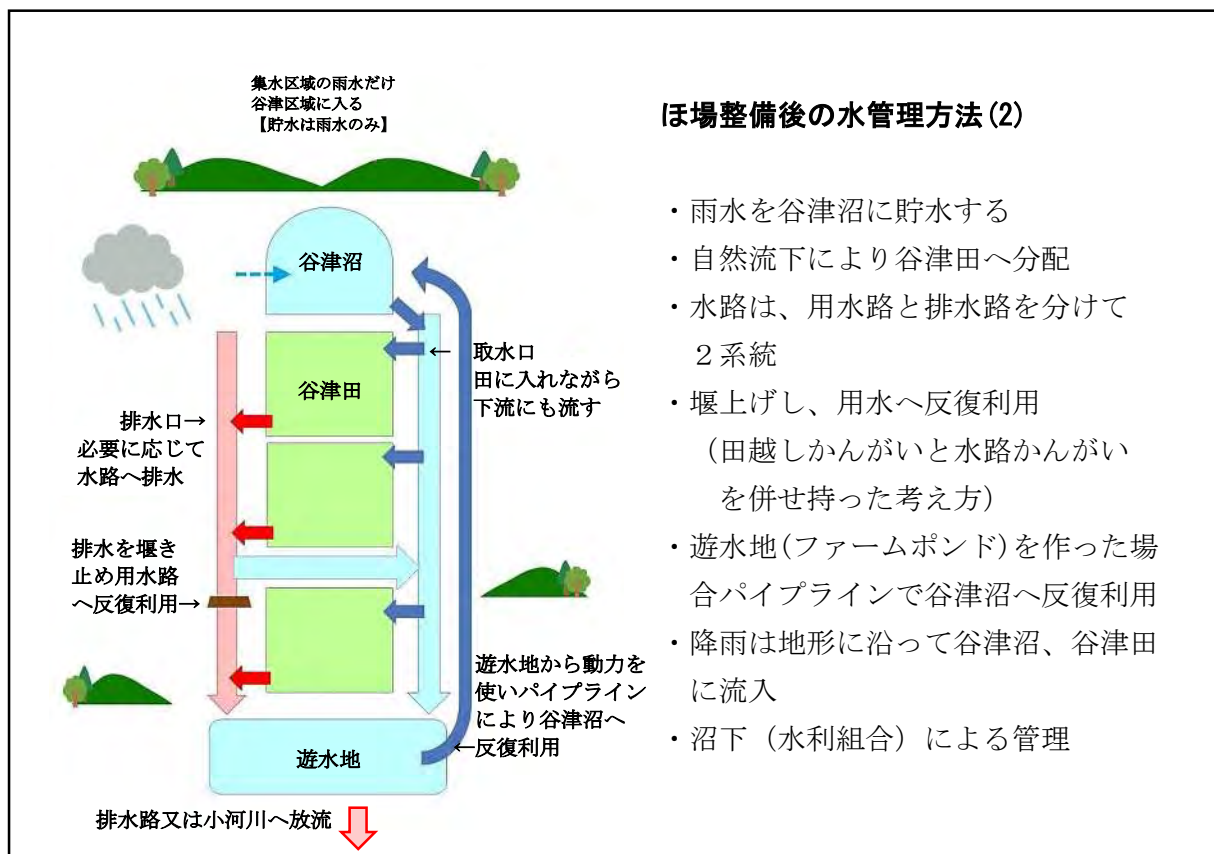


図 57 明治 44(1911)年の嵐山町（旧七郷村）地図



排水路又は小河川へ放流

図 58 谷津の水利方法 (2)



排水路又は小河川へ放流

図 59 谷津の水利方法 (3)

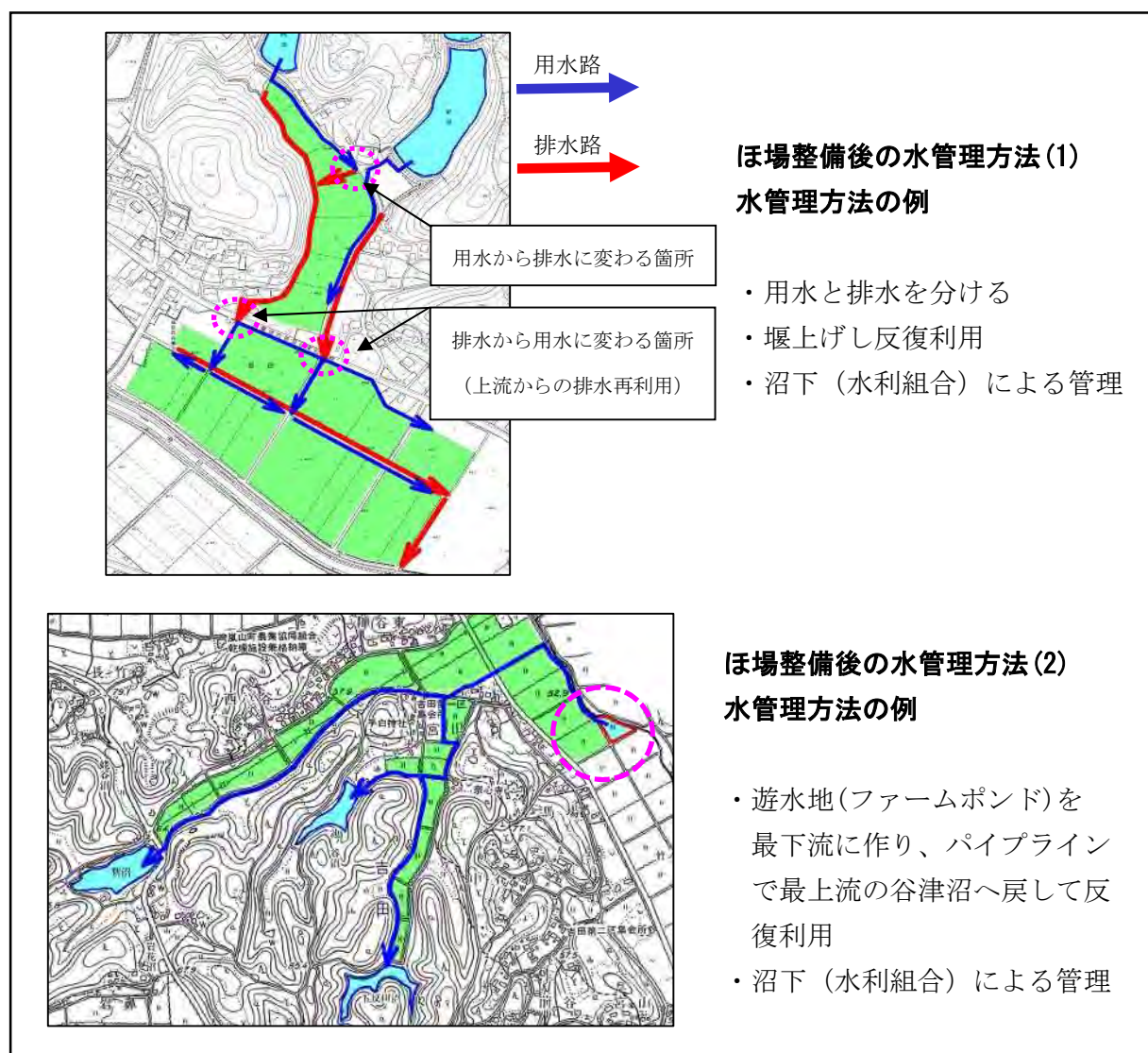


図 60 谷津の水利方法 (4)

谷津沼農業には、谷津沼の水管理方法及び沼下の関わり模式図からも分かるように、谷津沼の維持管理には古くから沼下（水利組合）が関係してきた（図 61）。

谷津沼に貯えた水を上流から下流に流す分配と、当地域独自の「沼下」という共同体が行ってきた話し合いによる水管理業務が不可欠であった。

谷津沼農業では、谷津沼を中心に、沼下による維持管理が行われる事により谷津区域内の秩序が保たれ、景観や生態系までも保たれるという好循環が生まれてきた。

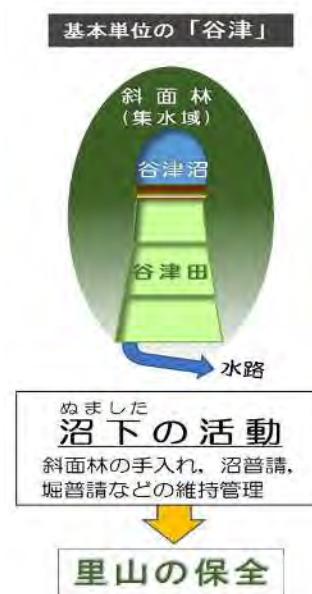


図 61 沼下の関わり

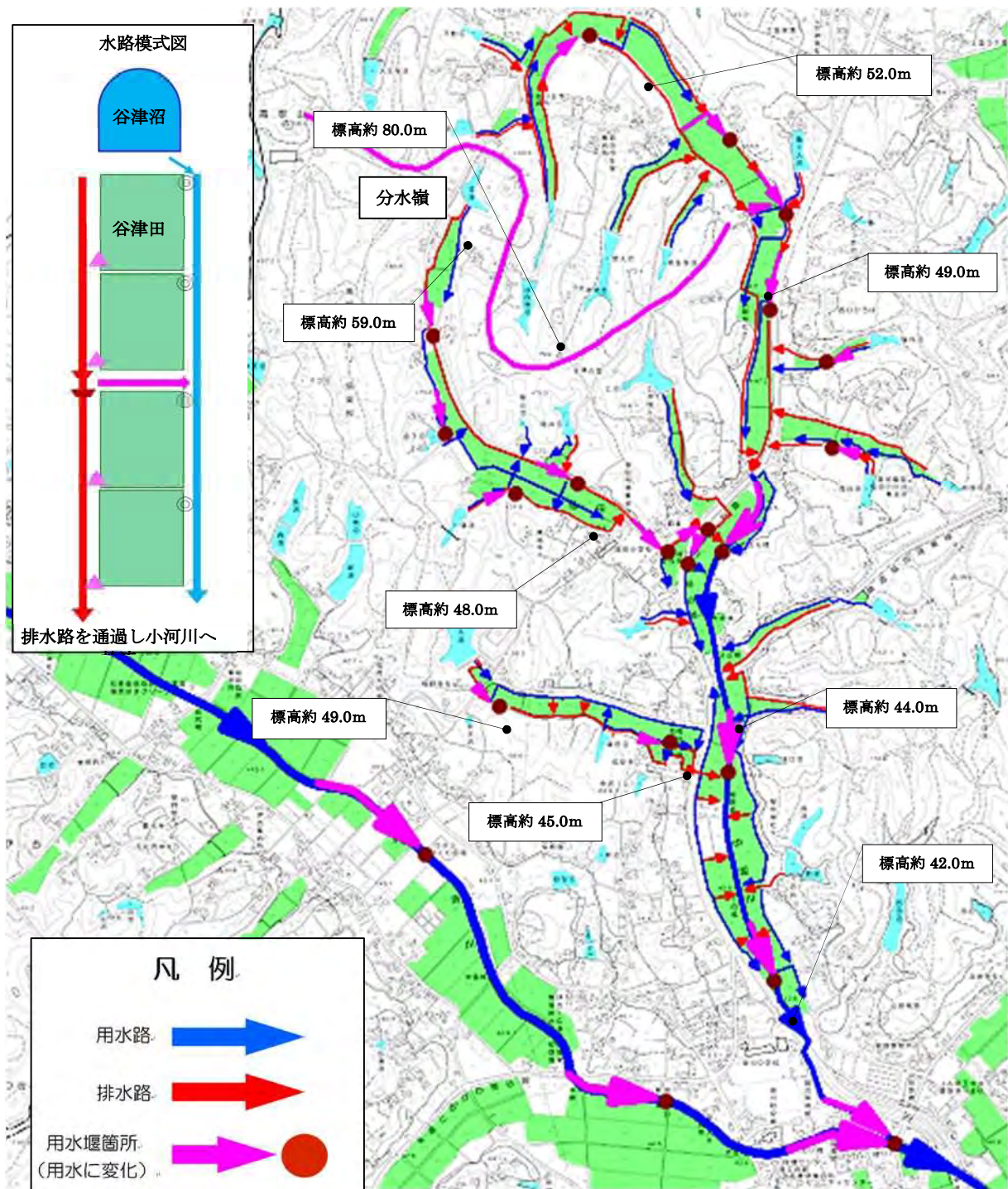


図 62 谷津沼から小河川までの水路網図

上から下へ流れる水的作用を利用し、無駄なく田に分配するため、水路網が複雑化・発達（図 62）。

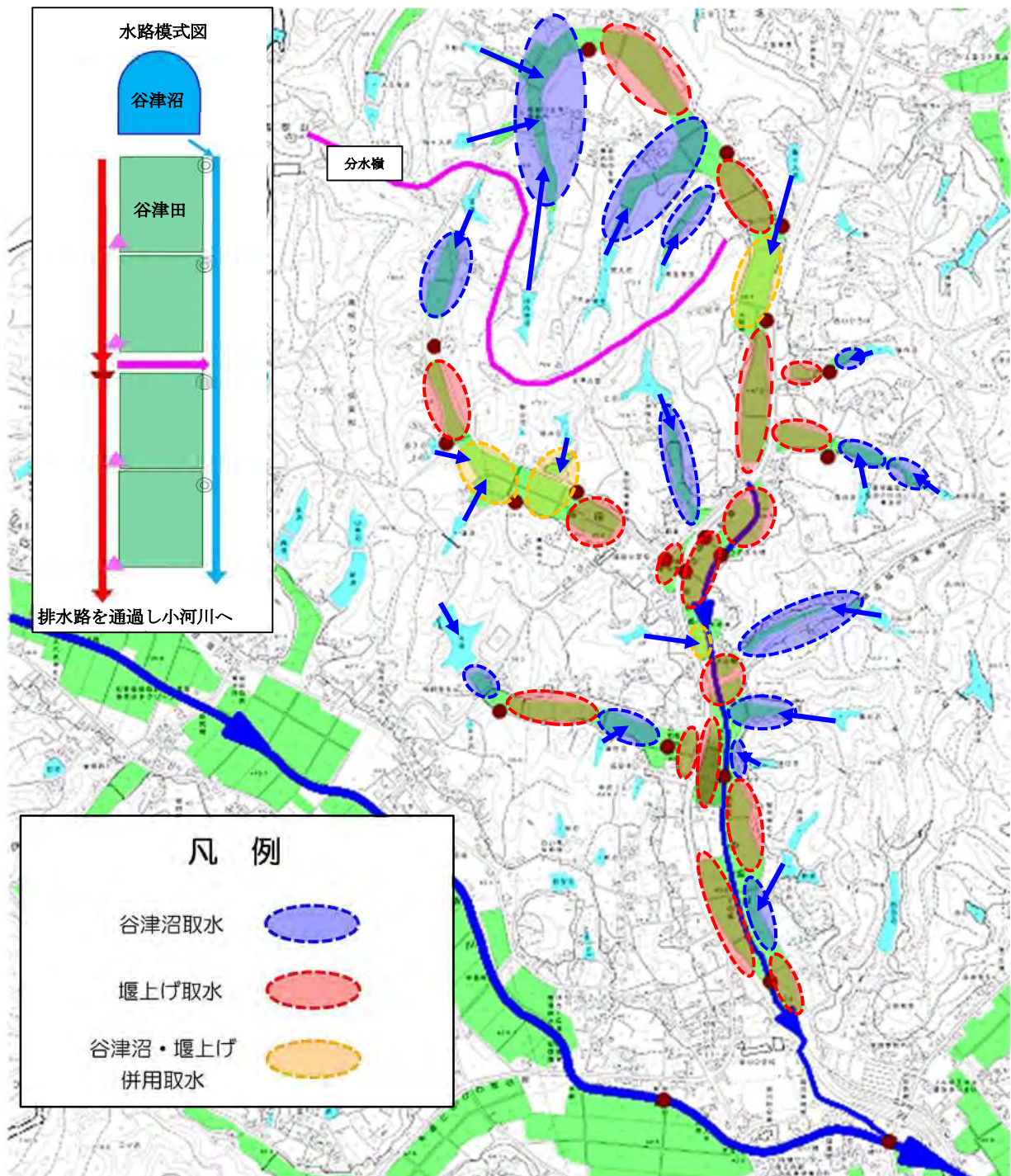
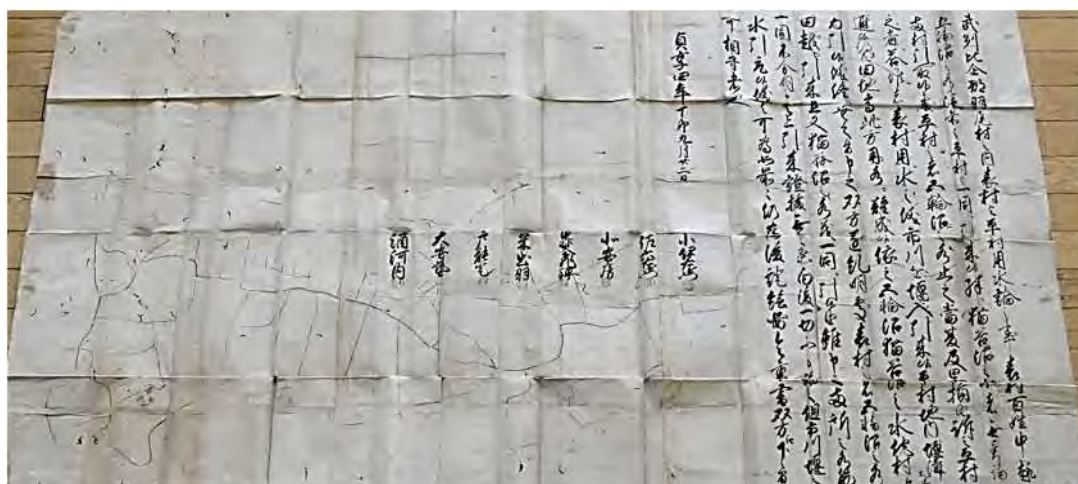


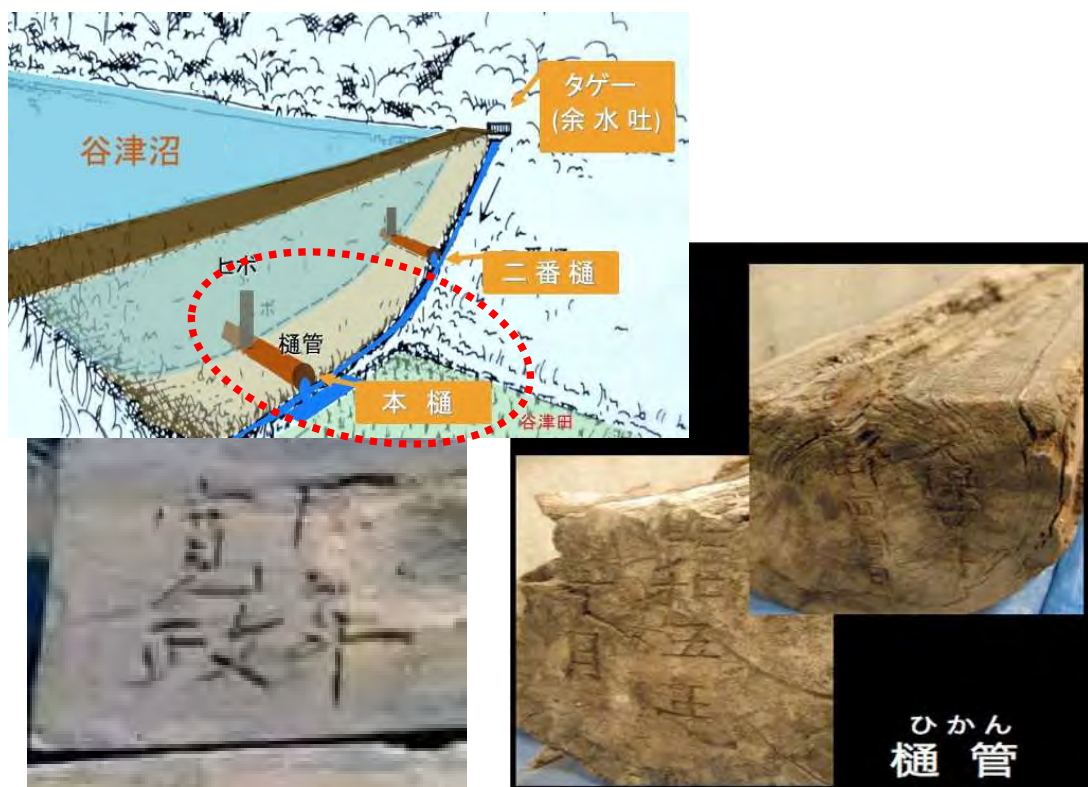
図 63 谷津沼から小河川まで自然流下する水の供給エリア図

上から下へ流れる水的作用を利用し、無駄なく田に分配するため、水の供給エリアが複雑化している（図 63）。

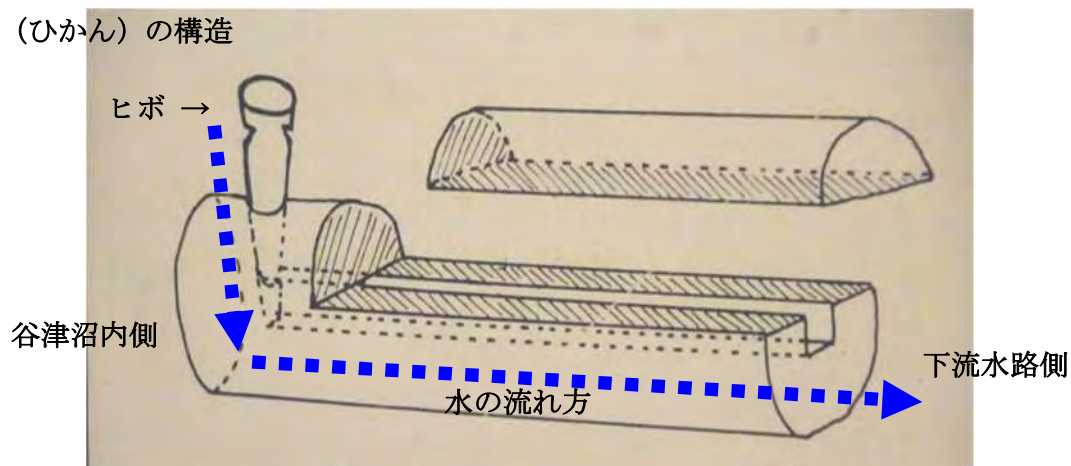


過去と現在の谷津沼の対比（上：貞亨四(1687)年の水争いに関する裁許状表面／
中：同裏面の絵図面／下：現在の谷津沼の状況 滑川町羽尾地内）

図 64 300 年以上変らない谷津沼の状況



樋管（ひかん）の構造



谷津沼は、あくまでも稲作のために造られたものである。よって、ただ単に水が貯えられれば良いというのではなく、谷津田に水を引く仕組みが必要になってくる。河川等における水利用の場合にも取水のための特別な仕組みがあるように、谷津沼にも取水のための特別な仕組みがある。地元に豊富にあった赤松材を利用し、「たて松」と呼ばれる特別に育成した大きく立派な松を樋管として利用していた（一般的に松は地下水面以下にあれば腐食の進展は殆どなく、長時間経過しても健全と言われている。当地域では、「生松 1000 年」と言われている）。

図 65 谷津沼から取水する樋管

6. 歴史関連



⑦中尾遺跡出土の
瓦塔(滑川町)

8世紀、丘陵地の集落遺跡から出土したミニチュア。庶民生活への仏教の浸透が窺い知れる。



⑥五厘沼窯跡(滑川町)

6世紀末、新しい技術で須恵器を生産。近接する平谷窯跡(瓦を生産)とともに⑤と関係が深い。



①吉見百穴(吉見町)

6世紀後半、在地の墓制とは異なる横穴墓。各地の谷津の開発に関係している可能性が高い。

②黒岩横穴墓群(吉見町)

③比丘尼山横穴墓群(東松山市)

④天神山横穴墓群(滑川町)



⑤寺谷廃寺跡出土の軒丸瓦(滑川町)

7世紀前半の創建とされる東日本最古の古代寺院跡からは、日本最古の寺院・飛鳥寺の瓦(右)と同じ「素弁八葉蓮華文」の軒丸瓦が出土している。寺院建立の背景として、谷津の開発の進展と仏教の浸透が窺われる。

図 66 渡来系文化の受容と「谷津沼(ため池)」の出現

1600年頃(江戸時代初頭)にはほぼ完成していた当地域の「谷津沼(ため池)」で築造年が明らかになっているものはない。築造には、大陸の高度な灌漑技術や鉄器等の道具が必要不可欠であったが、域内に残る渡来系文化の影響を示す古代遺跡や遺物(上図)の存在から、古墳時代には出現していたと考えてよさそうである。

7. ため池・丘陵の比較に関する資料

区分け ① 総務省：地域ブロック区分に準じて４７区分を東日本と西日本に分けた

区分け ② 総務省：地域ブロック区分の類型Ⅳにより区分により１０区分け

地域分け ①		地域分け ②		都道府 県番号	都道府県名	比較丘陵地域
東日本	①	北海道	①	1	北海道	馬追丘陵
		東北	②	2	青森	
				3	岩手	
				4	宮城	
				5	秋田	笹森丘陵
				6	山形	
				7	福島	
		関東	③	8	茨城	
				9	栃木	
				10	群馬	
				11	埼玉	比企丘陵・狭山丘陵
				12	千葉	房総丘陵
				13	東京	多摩丘陵
				14	神奈川	多摩丘陵・大磯丘陵
				19	山梨	
		北陸信越	④	20	長野	
				15	新潟	東頸城丘陵・魚沼丘陵
				16	富山	宝達丘陵
				17	石川	宝達丘陵・奥能登丘陵
		中部	⑤	18	福井	
				22	静岡	
				21	岐阜	
				23	愛知	
				24	三重	
西日本	②	近畿	⑥	25	滋賀	水口丘陵・堅田丘陵
				26	京都	
				27	大阪	千里丘陵・枚方丘陵
				28	兵庫	津名丘陵
				29	奈良	
				30	和歌山	
		中国	⑦	31	鳥取	
				32	島根	
				33	岡山	
				34	広島	
				35	山口	
		四国	⑧	36	徳島	
				37	香川	
				38	愛媛	
				39	高知	
		九州	⑨	40	福岡	
				41	佐賀	
				42	長崎	
				43	熊本	
				44	大分	
				45	宮崎	
				46	鹿児島	
		沖縄	⑩	47	沖縄	

日本のため池区分表(ため池数・平均ため池面積・ため池率)

		ため池データベース(H30)内の地形区分によるため池数																			
		ため池細別		山地			丘陵地			台地			低地			その他・不明等			ため池合計数		
				①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③
ため池 タイプ別 による区分	皿池	2,028	1,525	712	5,299	4,311	2,590	2,807	2,444	1,361	3,582	3,135	2,131	637	138	133	14,353	11,553	6,927		
	谷池	35,579	27,497	17,356	33,600	26,901	15,109	4,565	4,089	2,085	5,119	4,482	3,234	5,254	444	393	84,117	63,413	38,177		
	その他	1,164	907	223	2,431	1,997	532	543	441	74	220	202	44	8,793	175	115	13,151	3,722	988		
	合計ため池数	38,771	29,929	18,291	41,330	33,209	18,231	7,915	6,974	3,520	8,921	7,819	5,409	14,684	757	641	111,621	78,688	46,092		
	①に対する増減数		-8,842	-20,480			-8,121	-23,099		-941	-4,395		-1,102	-3,512		-13,927	-14,043		-32,933	-65,529	

区 分	全体数(箇所) 1km ² 当り箇所数 ①に対する割合	タイプ別		皿池・谷池・その他の池を地形別に再分類した割合		
		箇所数	箇所数割合	山地	丘陵地	台地
① 現存ため池	111,621	14,353	12.86%	1.82%	4.75%	2.51%
	0.295	84,117	75.36%	31.87%	30.10%	4.09%
	100.0%	13,151	11.78%	1.04%	2.18%	0.48%
② ①欄の水量1千t以上	78,688	11,553	14.68%	1.94%	5.48%	3.10%
	0.208	63,413	80.59%	34.94%	34.19%	5.20%
	70.5%	3,722	4.73%	1.15%	2.54%	0.56%
③ ②欄の受益者3戸以上	46,092	6,927	15.03%	1.55%	5.62%	2.95%
	0.122	38,177	82.83%	37.66%	32.78%	4.52%
	41.3%	988	2.14%	0.48%	1.15%	0.16%

東日本・西日本のため池区分表(ため池数・平均ため池面積・ため池率)

地域別	ため池細別	ため池データベース(H30)内の地形区分によるため池数														
		山地			丘陵地			台地			低地			その他・不明等		
		①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③
東日本		1,175	963	388	2,266	1,784	910	1,186	1,096	505	970	856	453	6	1	2,257
	皿池	8,577	7,583	3,942	12,353	10,748	5,034	2,295	2,040	711	2,188	2,053	1,356	12	0	11,043
	谷池	116	102	72	272	205	35	238	186	29	23	19	7	1,056	43	151
	その他	9,868	8,648	4,402	14,891	12,737	5,979	3,719	3,322	1,245	3,181	2,928	1,816	1,074	44	13,451
	合計ため池数	1,220	5,466	2,154	8,912	3,397	2,474	253	1,065	5,054	19,282	1,065	5,054	19,282	1,065	5,054
対 象 都道府県名	①に対する増減数	1,220	5,466	2,154	8,912	3,397	2,474	253	1,065	5,054	19,282	1,065	5,054	19,282	1,065	5,054
	北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・長野県・新潟県・富山県・石川県・福井県・静岡県・岐阜県・愛知県・三重県	1,220	5,466	2,154	8,912	3,397	2,474	253	1,065	5,054	19,282	1,065	5,054	19,282	1,065	5,054
		1,220	5,466	2,154	8,912	3,397	2,474	253	1,065	5,054	19,282	1,065	5,054	19,282	1,065	5,054
		1,220	5,466	2,154	8,912	3,397	2,474	253	1,065	5,054	19,282	1,065	5,054	19,282	1,065	5,054
		1,220	5,466	2,154	8,912	3,397	2,474	253	1,065	5,054	19,282	1,065	5,054	19,282	1,065	5,054
地域面積		255,386.18km2														

区 分	全体数(箇所) 1km ² 当り箇所数 ①に対する割合	タイプ別						皿池・谷池・その他の池を地形別に再分類した割合					
		箇所数		箇所数割合		山地		丘陵地		台地		低地	
		箇所数	箇所数割合	箇所数	箇所数割合	箇所数	箇所数割合	箇所数	箇所数割合	箇所数	箇所数割合	箇所数	箇所数割合
① 現存ため池	皿池	5,603	17.12%	5,603	17.12%	3,599	3.59%	6,929	6.92%	3,629	3.62%	2,979	2.97%
	谷池	25,425	77.67%	25,425	77.67%	26,209	26.20%	37,749	37.74%	7,019	7.01%	6,689	6.68%
	その他	1,705	5.21%	1,705	5.21%	0,359	0.35%	0,839	0.83%	0,739	0.73%	0,079	0.07%
② ①欄の水量1千t以上	皿池	4,700	16.98%	4,700	16.98%	3,489	3.48%	6,459	6.45%	3,969	3.96%	3,099	3.09%
	谷池	22,424	81.01%	22,424	81.01%	27,339	27.33%	38,839	38.83%	7,379	7.37%	7,429	7.42%
	その他	555	2.01%	555	2.01%	0,379	0.37%	0,749	0.74%	0,679	0.67%	0,079	0.07%
③ ②欄の受益者3戸以上	皿池	2,257	16.78%	2,257	16.78%	2,889	2.88%	6,779	6.77%	3,759	3.75%	3,379	3.37%
	谷池	11,043	82.10%	11,043	82.10%	29,319	29.31%	37,429	37.42%	5,299	5.29%	10,089	10.08%
	その他	151	1.12%	151	1.12%	0,539	0.53%	0,269	0.26%	0,229	0.22%	0,059	0.05%

東日本・西日本のため池区分表(ため池数・平均ため池面積・ため池率)

地域別		ため池データベース(H30)内の地形区分によるため池数																		
西日本		ため池細別	山地			丘陵地			台地			低地			その他・不明等			ため池合計数		
			①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③
ため池 タイプ別 による区分		皿池	853	562	324	3,033	2,527	1,680	1,621	1,348	856	2,612	2,279	1,678	631	137	132	8,750	6,853	4,670
		谷池	27,002	19,914	13,414	21,247	16,153	10,075	2,270	2,049	1,374	2,931	2,429	1,878	5,242	444	393	58,692	40,989	27,134
		その他	1,048	805	151	2,159	1,792	497	305	255	45	197	183	37	7,737	132	107	11,446	3,167	837
		合計ため池数	28,903	21,281	13,889	26,439	20,472	12,252	4,196	3,652	2,275	5,740	4,891	3,593	13,610	713	632	78,888	51,009	32,641
		①に対する増減数	／	-7,622	-15,014	／	-5,967	-14,187	／	-544	-1,921	／	-849	-2,147	／	-12,897	-12,978	／	-27,879	-46,247
対象		滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県 熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県																		
地域面積		122,588.42km2																		
区 分		全体数(箇所)		タイプ別					皿池・谷池・その他の池を地形別に再分類した割合											
		1km ² 当り箇所数	①に対する割合	箇所数		箇所数割合		山地	丘陵地	台地	低地	その他・不明等								
① 現存ため池		78,888		皿 池	8,750	11.09%	箇所数		箇所数割合		1.08%	3.84%	2.06%	3.31%	0.80%					
		0.644		谷 池	58,692	74.40%					34.23%	26.93%	2.88%	3.72%	6.64%					
		100.0%		その他	11,446	14.51%					1.33%	2.74%	0.38%	0.25%	9.81%					
② ①欄の水量1千t以上		51,009		皿 池	6,853	13.44%					1.10%	4.96%	2.64%	4.47%	0.27%					
		0.416		谷 池	40,989	80.36%					39.04%	31.67%	4.02%	4.76%	0.87%					
		64.7%		その他	3,167	6.21%					1.58%	3.51%	0.50%	0.36%	0.26%					
③ ②欄の受益者3戸以上		32,641		皿 池	4,670	14.31%					0.99%	5.15%	2.62%	5.14%	0.41%					
		0.266		谷 池	27,134	83.13%					41.10%	30.87%	4.21%	5.75%	1.20%					
		41.4%		その他	837	2.56%					0.46%	1.52%	0.14%	0.11%	0.33%					

国内の主な丘陵地域(16地域)集約表

各丘陵地域にある現存ため池(①)と水量1千t以上のため池(②)と水量1千t以上・受益者3戸以上のため池(②)を比較した表

丘陵地名		ため池データベース(H30)内の地形区分によるため池数																					
国内丘陵地 16地域合計・平均	ため池細別 全 体 数	山地			丘陵地			台地			低地			その他・不明等			ため池合計数						
		①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③				
ため池 タイプ別 による区分	皿池	383	314	73	568	487	245	161	144	87	131	117	58	36	10	10	1,279	1,072	473				
	谷池	2,281	1,969	767	2,120	1,911	1,089	465	394	121	596	567	500	187	29	23	5,649	4,870	2,500				
	その他	70	70	67	62	60	23	10	10	2	10	6	3	31	1	1	183	147	96				
	合計ため池数	2,734	2,353	907	2,750	2,458	1,357	636	548	210	737	690	561	254	40	34	7,111	6,089	3,069				
	①に対する増減数	△ 381	△ 1,827	△ 292	△ 1,393	△ 88	△ 426	△ 47	△ 176	△ 214	△ 220	△ 1,022	△ 4,042										
丘陵想定面積 (km ²)		15,566.55km2			現存ため池 平均面積(m ²)			水量1千t以上のため池 平均面積(m ²)			水量1千t以上で受益者3戸以上ため池 平均面積(m ²)			6,110m ²			7,160m ²			8,700m ²			
調査した丘陵地域の平均高低差:約280m程度 平均勾配:約2.5%程度					ため池の面積を比較																		
区 分	全体数(箇所)		タイプ別		箇所数	箇所数割合	皿池・谷池・その他の池を地形別に再分類した平均割合													皿池・谷池・その他の池を地形別に再分類した平均集水面積			
	1km ² 当り箇所数	集水平均面積				集水平均面積	山地	丘陵地	台地	低地	その他・不明等												
① 現存ため池	7,111		皿 池	1,279	17.99%	25.31ha	5.39%	7.99%	2.26%	15.61ha	11.74ha	1.84%	0.51%										
	0.46箇所		谷 池	5,649	79.44%	17.38ha	32.08%	29.81%	6.54%	30.18ha	17.73ha	8.38%	2.63%										
	120.30ha		その他	183	2.57%	108.12ha	0.99%	0.87%	0.14%	20.99ha	42.94ha	0.14%	0.44%										
② ①欄の水量1千t以上	6,089		皿 池	1,072	17.60%	28.29ha	5.15%	7.98%	2.36%	16.25ha	11.93ha	1.92%	0.16%										
	0.39箇所		谷 池	4,870	79.99%	18.98ha	32.35%	31.39%	6.47%	31.28ha	18.71ha	9.31%	0.48%										
	17.01ha		その他	147	2.41%	129.07ha	1.15%	0.99%	0.16%	20.99ha	56.55ha	0.10%	0.02%										
①に対する割合 85.6%																							
③ ②欄の受益者3戸以上	3,069		皿 池	473	15.41%	28.81ha	2.38%	7.98%	2.83%	14.58ha	14.64ha	1.89%	0.33%										
	0.20箇所		谷 池	2,500	81.45%	21.90ha	25.00%	35.48%	3.94%	35.91ha	19.74ha	16.29%	0.75%										
	20.01ha		その他	96	3.13%	127.16ha	2.19%	0.75%	0.07%	21.62ha	54.80ha	0.10%	0.03%										
①に対する割合 43.2%																							

国内の主な丘陵地域

各丘陵地域にある現存ため池(①)と水量1千t以上のため池(②)と水量1千t以上・受益者3戸以上のため池(②)を比較した表

丘陵地名 埼玉県 比企丘陵		ため池データベース(H30)内の地形区分によるため池数																		
		山地			丘陵地			台地			低地			その他・不明等		ため池合計数				
		①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③	①	②	③				
ため池 タイプ別 による区分	皿池	1	1	1	16	16	14	3	3	3	2	4	4	0	0	0	24	24	21	
	谷池	9	9	9	256	255	231	9	9	9	8	0	0	0	0	0	274	273	248	
	その他	0	0	0	37	37	1	8	8	8	0	3	3	0	0	0	48	48	1	
	合計ため池数	10	10	10	309	308	246	20	20	20	10	7	7	4	0	0	346	345	270	
①に対する増減数		0		0	△ 1		△ 63	0		△ 10	0		△ 3	0		△ 1		△ 76		
丘陵関連市町村		東松山市		熊谷市(旧江南町)		吉見町		滑川町		嵐山町		小川町		寄居町						
丘陵想定面積 (km ²)		311.05km ²																		
標高20m～150m程度の丘陵地域、高低差は約100m程度(勾配:1.0%程度)		ため池の面積を比較 水量1千t以上のため池 平均面積(m) 水量1千t以上で受益者3戸以上ため池 平均面積(m)																4,570m ² 4,580m ² 4,550m ²		
区 分	全体数(箇所) 1km ² 当り箇所数 集水平均面積	タイプ別	箇所数	箇所数割合 集水平均面積	皿池・谷池・その他の池を地形別に再分類した割合 皿池・谷池・その他の池を地形別に再分類した集水面積															
					山地	丘陵地	台地	低地	その他・不明等											
① 現存ため池	346	皿 池	24	6.94% 21.57ha	0.29% 1.30ha	4.62% 29.31ha	0.87% 9.00ha	1.16% 5.10ha											0.00%	—
	1.11箇所	谷 池	274	79.19% 10.79ha	2.60% 56.03ha	73.99% 9.02ha	2.60% 15.86ha	0.00%											0.00%	—
	11.82ha	その他	48	13.87% 12.83ha	0.00% —	10.69% 10.36ha	2.31% 21.90ha	0.87% 19.03ha											0.00%	—
② ①欄の水量1千t以上	345	皿 池	24	6.96% 21.57ha	0.29% 1.30ha	4.64% 29.31ha	0.87% 9.00ha	1.16% 5.10ha											0.00%	—
	1.11箇所	谷 池	273	79.13% 10.82ha	2.61% 56.03ha	73.91% 9.04ha	2.61% 15.86ha	0.00%											0.00%	—
	11.84ha	その他	48	13.91% 12.83ha	0.00% —	10.72% 10.36ha	2.32% 21.90ha	0.87% 19.03ha											0.00%	—
①に対する割合 99.7%					—	5.19% 33.11ha	0.74% 5.50ha	1.48% 5.10ha											0.00%	—
③ ②欄の受益者3戸以上	270	皿 池	21	7.78% 23.63ha	0.37% 1.30ha	5.19% 33.11ha	0.74% 5.50ha	1.48% 5.10ha											0.00%	—
	0.87箇所	谷 池	248	91.85% 11.37ha	3.33% 56.03ha	85.56% 9.42ha	2.96% 17.48ha	0.00%											0.00%	—
	12.29ha	その他	1	0.37% 4.00ha	0.00% —	0.37% 4.00ha	0.00% —	0.00% —											0.00%	—
①に対する割合 78.0%					—	4.00ha	—	—											0.00%	—